

「アメリカで何をつかみとりたいか」

北海道札幌西高等学校 普通科2年 吉田 愛理

私の将来の夢の一つは、検察官になり犯罪被害者や遺族のやり場のない気持ちを、事件の真相解明によって少しでも報われるように努めることだ。中学生の時から私は、警察官や科捜研など、事件を解決し被害者のために働く仕事に憧れていた。

そんな私が検察官になりたいと思ったきっかけは、高校一年生の時にインターンシップで西高のOBの法律事務所を訪問したことだった。そのプログラムにスピード違反で逮捕された人の裁判の傍聴があり、裁判が終わった後、その裁判を担当していた裁判官の方の話を聞く機会があった。その方は自分の判決をどう思うか、と私たちに尋ね、高校生である私たちの意見を真剣に聞き、参考にしたいと言っていた。それは私が持っていた厳しく冷たいという裁判官のイメージとは全く違い、人のために思い正義感に溢れている姿であり、それは私が憧れていた姿そのものだった。私もこんな風になりたいと思い、また自ら犯人を裁判にかけることができ、刑の執行の指示ができる検察官を目指すようになった。

日本では今、死刑制度の廃止や少年犯罪の厳罰化が問題になっている。私も法に携わる仕事に就く者として避けられない問題だと思い、その問題について度々考えていた。まず私は死刑制度の廃止に反対していた。死刑制度には凶悪犯罪の増加の抑止という効果があるという意見に納得していたからだ。しかし、裁判員裁判などによる裁判の民主化が進み、厳罰化が問題になっているという記事を読んで、私自身も被害者の方に同情し私情を挟み、厳罰化を要求しているのではないか、と思うようになった。先進国を中心に139か国もの国が死刑制度を廃止・執行停止している中で、日本と同様に死刑制度を存置しているのがアメリカである。17州ではすでに死刑が廃止されているが、ロサンゼルスのあるカリフォルニアではまだ廃止されていない。つぎに私は少年法の厳罰化に賛成し、なんの知識もないのに少年法なんてなくなればいいとまで思っていた。しかし詳しく調べてみると、少年法は甘い制度ではないことや、日本の少年法は世界的にも若い少年の更生を真摯に考えているという点で高い評価を受けていることがわかり、そんなことも知らずに狭い視野だけで物事を見て意見していたことをとても恥ずかしく思った。アメリカでは私が主張していたような少年法の極端な厳罰化がはかられた。しかしこの結果、後の再犯率が高くなったりと、少年の殺人が2.5倍にまで増えたりと完全な失敗に終わったようだ。

検察官には、正義感、人とのコミュニケーション能力、広く公正な視野で物事を見て判断する力が必要である。しかし今の私は、狭い視野でしか物事を捉えられず公正な判断が出来ていないと思う。

ロサンゼルスには様々な言語、文化が混在している。また日本とアメリカには様々な価値観の違いがある。例えば日本人は子供を大切にすることとは子供に余計な苦勞をかけず、危険なことは取り除いてあげることだと考えているが、アメリカ人はその子の年齢に応じてやれることは何でもやらせて、危険なことは自分で気付かせることだと考えてい

る。このように価値観、生きてきた環境が違う同世代の人たち、また様々な職業の方たちとたくさんコミュニケーションをとることは私の視野を広げ、様々な考え方に気付かせてくれるだろう。

私がアメリカでつかみたいことは、物事を様々な視点で見る力だ。そして自分の意見をはっきりと主張できるような、日本では養うことができなかつた高いコミュニケーション能力、前述したような「少年法の厳罰化がはかられたことでなぜ再犯率が高くなったのか」「世界で死刑制度の廃止が叫ばれている中、なぜアメリカや日本は死刑制度を存置しているのか」の答えもアメリカの高校生と、この問題について話し合い、意見を聞いたりして自分なりに見つけたい。死刑制度の存置について私は、アメリカも日本と同じように凶悪犯罪の増加の抑止が目的であると思っていた。しかし本当にそうなのだろうか。死刑制度の存置を求める日本人とアメリカ人の意見や考えは一致していても、その考えに至った経緯、理由、背景は違うかもしれない。人は同じ意見、考え方には疑問を持つことなく受け入れてしまう。私もそうである。このように一見同じように見えるもの、考え方の背景を探る力も手に入れたい。同じ意見であるというだけで安心せず背景をさぐり、自分の考え方も疑う目を持つことは、私の考え方に革新をもたらしてくれると信じている。

日本人とは異なる価値観、文化に触れて、視野を広げると同時に、日本人と同じ考え方や意見に対してもその背景を探り、自分が正しいと思っていることにも疑問を持てるような力を得たい。以上のような経験を通して、検察官に必要な力を手に入れ、それだけではなく人として成長して弱い立場の人に寄り添って生きていきたい。